

ほのぼのせや ふれあい助成金 活動団体紹介

下瀬谷こども食堂

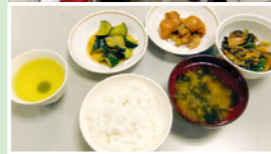
この4月から始まった「下瀬谷こども食堂」に行ってきました。名前は「こども食堂」なのですが、子ども限定ではなく一人で食事をする「孤食」の人を主な対象としており、毎週水曜日、一人暮らしの高齢者や小さい子どもを持つ親子なども利用しています。

私たちと一緒に、見た目も鮮やかな料理をいただきました。みんなで食べることもあり、自然と笑顔になります。こちらでは、スタッフも一緒にテーブルで食べることにしているそうで、話が弾んでいました。

代表の菅野さんにお話をうかがうと、始めてからおかすのメニューはすべて異なるとのこと。「1年間同じメニューにならないように頑張る」と宣言されていました。これだけの料理を出すのは運営が大変だろうと思うのですが、「ケアラザを使わせていただいていることで場所代・光熱費がかかっておらず、区民の方からお米等のご寄付もあり、いただいた利用料、ほのぼのせやふれあい助成金で充分にまかなえています」と心強いお言葉。「部屋も広いし、人数が増えてもまだまだ対応できます。もっとたくさんの人に来てほしいです」とのことです。



下瀬谷こども食堂実施委員会代表の菅野さん



<取材日(8/2)のメニュー>  
タンドリーチキン、ナスのしょうが炒め、キュウリの甘酢和え、みそ汁、ご飯、手作りアイスクリーム

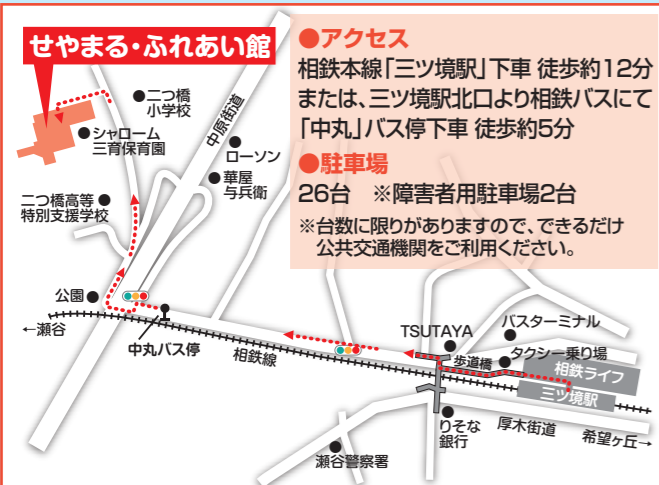
利用者のご感想  
・いつもお母さんとくらんだ、おいしいよ。  
・楽しみに、毎週来ています。  
・歩いてくるので、健康にも良いです。  
・毎週来ていますが、同じメニューが出たことはありません。  
・小さい子どもと接する事が出来るので、とても楽しいです。

訪問後感  
驚くことに、こちらでは週1回開設しているとのこと。すごいです。それには、調理も担当する菅野代表の存在が大きく、その熱意があればこそと感じました。支えるスタッフの動きもキビキビとしていて、見ていて気持ちよかったです。それからこれも大事な事ですが、料理が美味しかったです。個人としてまた食べに来たいという気持ちになりました。(水村委員)

場所 ●下瀬谷地域ケアプラザ  
日時 ●毎週水曜日(祝日は除く) 18:00~20:00  
利用について ●大人300円・小人100円(事前登録制)  
問合せ先 ●下瀬谷地域ケアプラザ(045-304-1291)

平成29年度 ほのぼのせや ふれあい助成金 134団体に総額8,695,600円を助成しました。

Table listing various organizations and their received grant amounts. It is divided into categories A through G, including items like '特定非営利活動法人セヤ', '音声訳グループつくしの会', and 'ニッポン第二 カローリング'.



●アクセス  
相鉄本線「三ツ境駅」下車 徒歩約12分  
または、三ツ境駅北口より相鉄バスにて「中丸」バス停下車 徒歩約5分  
●駐車場  
26台 ※障害者用駐車場2台  
※台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

編集後記  
民生委員制度創設100周年を迎えました。瀬谷区では民生委員児童委員136名と主任児童委員23名が地域住民からの相談、高齢者・障害者世帯の訪問・見守り等、幅広い活動を行っています。しかし、高齢化が進み民生委員の負担が増えています。ご近所や自治会町内会での見守りあいが負担軽減に繋がるのではないかと思います。地域の皆さんの協力をお願いします。(遠山 文晴)

委員長 ●遠山 文晴(瀬谷第四地区社協)  
副委員長 ●紅林 千津子(相沢地区民児協)  
水村 明(瀬谷第一地区社協) / 飯塚 陵子(ワーカースわくわく)  
八木澤 恵奈(瀬谷区知的障害理解啓発グループ ant mama)

ほのぼのせや

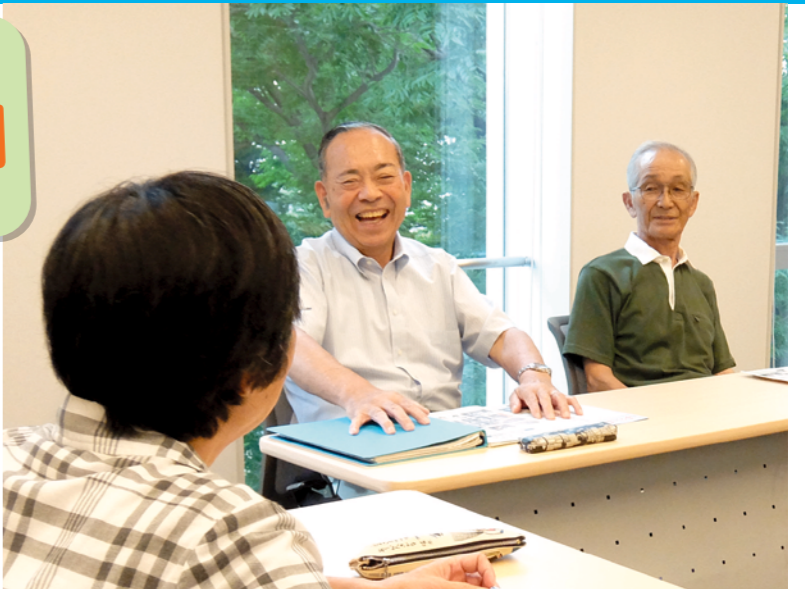
承認●瀬谷区第22号

http://seyaku-shakyo.jp/

地域の身近な相談相手 「民生委員・児童委員」

～民生委員制度創設100周年～

民生委員制度創設100周年ということで、瀬谷区民生委員児童委員協議会(瀬谷区民児協)の福田会長(写真左)と木下副会長(写真右)にお話をうかがいました。聞き手は広報委員の飯塚委員と紅林委員です。



飯塚 今年、民生委員制度創設100周年だそうですね、おめでとうございます。

「民生委員」という名前は聞いたことがあるのですが、詳しくはあまりよく知りません。どのような人たちのなか、簡単に教えてください。

福田 民生委員は、厚生労働大臣から委嘱された無報酬の非常勤特別職の地方公務員になります。「公務員」と言っても、実態はボランティアですが(笑)。木下 地域に密着し、住民と行政をつなぐ役割を果たしています。紅林 簡単に言うと、「地域のよき相談相手」というところでしょうか。

飯塚 普段はどのような活動をしているのですか?  
木下 気になるお宅を訪問したりして近況をお聞きし、相談事があれば行政や福祉サービスにつなげるお手伝いをしています。  
福田 普段は、民生委員としてというより、地域の一人として色々な所に顔を出すことが多いですね。「顔の見える関係」が大切ですから、地域の人にも行政にも。

飯塚 なんだか、民生委員って、大変そうなことをやられている感じがしますね。  
福田 周りの人は「大変そう」と言うのですが、実は、民生委員で「大変だ」という人はいないんですよ。活動を通していろいろな人と出会え、人生経験にプラスになっています。築かれた人間関係は自分の「宝」であると思っています。  
木下 民生委員をやっていなかったら、今頃は何をしているのだろうか、と考えることがあります。自分はこの活動をやっているから元気なんだ、と感じます(笑)。それだけやりがいもあり、地域の方々からパワーをいただいています。

紅林 活動していて、よかったと思うことは何ですか?  
福田 高齢者のお宅に訪問すると、「来てくれてうれしい、安心する」と喜ばれる、それだけ信頼されていると感じます。  
木下 地域を歩いていると、近所子どもたちが気軽に声をかけてくれるんですよ(笑)。顔を覚えてくれているんですね。

紅林 おかげ様で、高齢者については、だんだん体制は整ってきていると思います。これから新しく取り組んでいきたいテーマはありますか?  
福田 「子ども」が気になりますね。いじめの問題、孤食の児童の問題など課題がいっぱいあります。学校との連携がまだうまくとれていないので、体制作りからやっていかなくてはならないと思っています。  
木下 今話題の「子ども食堂」も、地域の子どもの課題を解決しようとして始めたものが広がりを見せてきているのですね。最近、増えている外国籍の方たちと地域との関わりをもてるようにしていかなければならないと思っています。

飯塚 100周年という区切りを迎えられたわけですが、これからまた20年も30年も、地域のためにご活躍を期待しています。本日はありがとうございました。

民生委員制度創設100周年 シンボルマーク



民生委員のシンボルマークであるハートでできた四葉を囲むグリーンの円は、人々・地域の暮らしと成長を表し、100年の歴史を表す「100」の文字のオレンジ色が、やさしさやふれあいを意味しています。「これからも地域とともに」というキャッチコピーには、これまで地域とともに100年間歩んできた実績を背景に、これからもずっと地域の方々と共に歩み続けるという、民生委員・児童委員の想いが込められています。全国民生委員児童委員連合会

★民生委員・児童委員の活動例★

- 地域住民からの相談対応
- 子供たちの安全を守るための活動
- 災害時要支援者の支援体制づくり
- 高齢者、障害者世帯等の訪問、見守り
- 行政からの要請に基づく調査協力対応
- 「いきいきサロン」「子育てサロン」の運営協力

# 瀬谷区社会福祉協議会が運営しています 活用してください！「パートナーせや」

瀬谷区福祉保健活動拠点「パートナーせや」は、せやまる・ふれあい館の2階にあり、区内で活動する福祉保健活動団体へ活動場所の提供をしています。団体の活動・打ち合わせ・研修等にご活用ください。

また、印刷機、コピー機、ロッカー、福祉機器（車いす、高齢者疑似体験セット等）の貸出も行っていますので、あわせてご利用ください。



**利用時間**  
月～土 / 9:00～21:00  
日・祝 / 9:00～17:00

**休館日**  
年末年始（12/29～1/3）、  
管理上休館と定めた日  
（毎月第3日曜日）

**利用対象**  
区内で自主的に福祉保健の  
活動を行っている団体等

**利用方法**  
事前に団体登録が必要です。  
利用を希望する月の6か月前の  
月初の平日から使用する日の前  
日までに申請書を窓口へ提出し  
てください。  
（注）1月は4日から受付を開始します。

## ●多目的研修室 定員70名

大人数の研修、講座等に適し  
ています。（76.8㎡）



## ●点字製作室・編集室 定員8名

点字印刷物の作成や発送作業、  
打ち合わせができます。  
（30.2㎡）



## ●録音室 定員3名

視覚障害のある方へ  
情報提供するテープ  
が録音製作できます。  
（15.1㎡）

## ●対面朗読室 定員6名

録音テープの編集作業や視覚  
障害のある方への対面朗読が  
できます。（15.1㎡）



## ●団体交流室 (1)

印刷機、コピ  
ー機、ロッカー  
があります。  
（40.9㎡）

## ●団体交流室 (3) 定員12名

会議や研修等が可能。（30.2㎡）

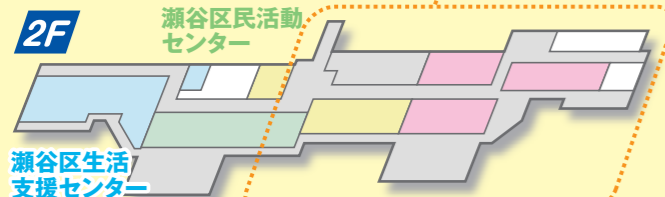


## ●団体交流室 (2) 定員20名

会議や研修等が可能。（40.9㎡）



## せやまる・ふれあい館



## ●コピー機・印刷機について ※使用には拠点登録が必要です

- コピー機（用紙代込み）  
白黒 1枚 10円/カラー 1枚 50円
- 高速カラープリンター（用紙は各自でご用意ください）  
白黒 10枚 10円/カラー 1枚 10円
- 印刷機（用紙は各自でご用意ください）  
マスター 1枚 50円/印刷費 20枚 10円

<例>印刷機で200枚（原紙1枚）印刷した場合  
50円（マスター）+100円（印刷費）=150円

- 紙折り機・丁合機（無料）
- 大型印刷物のプロッター出力も出来ます（有料）

## ●備品等の貸出 ※福祉機器・備品機材の貸出を行っています。期間は上限2週間。営利目的のご使用はできません。

- 《館外へ持ち出し可能な備品》
- ・車いす ・ポップコーンマシン ・綿菓子機 ・かき氷機 ・点字盤
  - ・アイマスク ・白杖 ・高齢者疑似体験セット ・プロジェクター
  - ・スクリーン ・アンプ ・マイク ・発電機 ・カローリング
- 《館内のみ使用可能な備品》
- ・パソコン ・プレイマット ・保育用おもちゃ ・ラジカセ

## ●布えほんの貸出

「せや布えほんぐらぶ」が作製した  
布えほんの貸出を行っています。  
（登録団体に限りです）



「パートナーせや」の良さはどこなのか、この施設をよく使われている「NPO法人あすなる」の丸山代表にインタビューしてみました。

活動の概要を教えてください  
→10年ほど前から、毎週月・木の夜、瀬谷区内の中学生の学習支援をしています。

## 「パートナーせや」の良いところは？

→設備が整っている所です。特に、ロッカーがあること、印刷機が安く使えることが、とてもありがたいです。半年ほど他の場所を使っていた時もあるのですが、また戻ってきてしまいました。

## 場所が使いづらいことはないですか？

→そんなことは無いですよ。バスでなら区内の各所から来やすいですし、自転車置き場が広いので使いやすいです。三ツ境駅からは点字ブロックをたどっていくと着くのも分かりやすいです。

どうもありがとうございました。ボランティアで続けていただいている学習支援、これからも頑張ってください。（遠山委員）

## 社協からのお知らせ

## 今年で7年目 東日本復興支援 被災地を忘れない、震災を風化させない ボランティアバス参加者募集

釜石市の仮設住宅で窓拭き等の軽作業や、生活している皆さんとの交流を行います。

日程 ●平成29年11月17日(金)～19日(日)  
2泊3日(車中1泊+現地1泊)

募集人員 ●30名(原則として瀬谷区在住・在勤・在学)

募集期間 ●～10/16(月)(申し込み多数の場合、選考)

費用 ●12,000円(高校生は10,000円)

<お問い合わせ>瀬谷区社会福祉協議会 045-361-2117  
<旅行企画者>イースタンツーリスト 神奈川県知事登録3-1096号

## 昨年度ボランティアバスの様子



岩手県釜石市鶴住居地区にて、仮設住宅にお住まいの方たちと一緒に調理や食事をして、交流を深めました。

## 報告 その1 第21回 ボランティアのつどい開催

3月18日(土)せやまる・ふれあい館で開催されました。

「釜石からのメッセージ2017」、「中学生・高校生ボランティア活動報告会」や点字・音声訳や手芸体験コーナー、車いすの試乗、カレー、タコライス等の販売もあり、ボランティア団体の発表の場となっています。



## shakyo information

## ガイドボランティア大募集!!

障害のある方の外出のお手伝いをしていただけるボランティアを募集中。特に、お子さんの通学時に付添をしていただける方を探しています。

- 18歳以上であれば、特別な資格は必要ありません。
- ガイドボランティア講座を企画中です。

10/12(木)13時～ 「知的障害の理解と通学時の付添について」  
11月予定 体験講座「視覚障害のある方とお出かけしてみよう」  
1/24(水)ガイドボランティア講座(共催:横浜市身体障害者団体連合会)

詳細は瀬谷区移動情報センターまで(TEL:045-361-2202、FAX045-361-2328)

## 横浜子育てサポートシステム

## 地域の子育てサポーター(提供会員)募集!!

子どもを預かってほしい人と、子どもを預かる人がそれぞれに会員登録をして行う子育て支援の有償のボランティア活動です。

- 預かる対象 ●生後57日以上～小学6年生までのお子さん
- 提供会員の条件 ●横浜市在住で、安全に子どもを預かることができる20歳以上の健康な方(3日間の研修あり)
- 活動内容 ●子どもの預かりと見守り、保育園、学童への送迎 etc

【入会説明会】10/6(金)・11/10(金) 13:30～14:30  
12/22(金) 10:30～11:30

会場 ●瀬谷区地域子育て支援拠点 にこてらす  
申込・お問合せ ●横浜子育てサポートシステム瀬谷区支部事務局 TEL:045-744-7207

## 報告 その2 第3期瀬谷区地域福祉保健計画 地区別計画推進研修会

日程 ●6月30日(金) 会場 ●瀬谷区役所5階大会議室

参加者 ●71名  
研修テーマ ●「顔の見える関係づくりから始める地域の見守り～防災事業」  
講師 ●山路清貴氏・杉野展子氏(NPO法人 横浜プランナーズネットワーク)



多くの地域福祉関係者の方々にご出席いただき、事例集の中から見守りにつながる事例を紹介しました。講義終了後、地区ごとのグループワークを実施、熱い意見交換が行われました。

## ●研修を受けての感想●

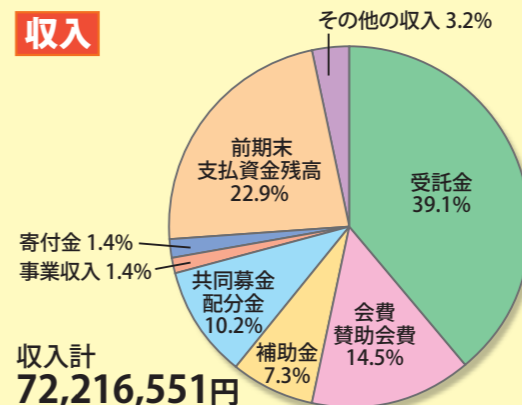
- ★一人一人が「お互い様」という気持ちを持つことが必要である
- ★地域の人の顔を覚え、挨拶できる関係を広げたい(ただし強制はしない)
- ★居場所を作るだけでなく、地域住民みんなの「出番」を作ることが大切だと感じた

## 平成28年度 瀬谷区社協 決算報告

瀬谷区社協では皆様からのご協力をを受けて、様々な事業を展開しています。今後ともご指導のほどよろしくお祈りいたします。

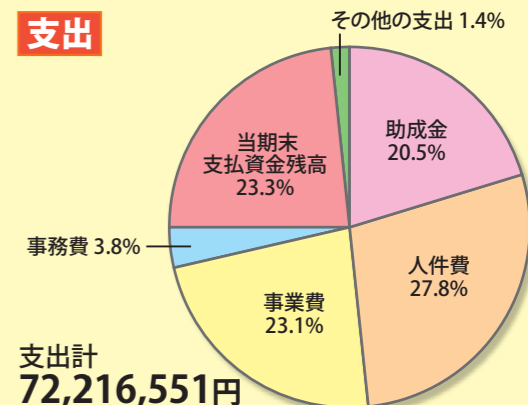


## 収入



収入計  
72,216,551円

## 支出



支出計  
72,216,551円